

会 議 記 録

会議名称	令和3年度 第1回文化財審議委員会
開催日時	令和3年6月23日(水) 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	青少年女性センター301会議室
出席者	<p><委員></p> <p>茂渡委員長、金子副委員長、岡田委員、上月委員、荘所委員、友久委員、藤原委員</p> <p><事務局></p> <p>教育指導部 神吉部長、杉本次長</p> <p>文化財調査研究センター 河村所長、宮本副所長、高下主査</p>
会議次第	<p>1 開会</p> <p style="padding-left: 2em;">委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 令和2年度文化財関係事業及び決算について(報告)</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 令和3年度文化財関係事業及び予算について(報告)</p> <p style="padding-left: 2em;">(3) 埋蔵文化財発掘調査(本発掘調査及び試掘調査)状況について(報告)</p> <p style="padding-left: 2em;">(4) その他、指定文化財候補及び文化財行政に係る意見交換など</p> <p>3 閉会</p> <p style="padding-left: 2em;">副委員長あいさつ</p>

議事内容	
1	<p>令和2年度文化財関係事業及び決算について(報告)</p> <p>事務局から、令和2年度文化財関係事業及び令和2年度決算について報告があった。委員から「とてもたいへんな作業をしている。」と感想の発言があった。その他、委員からの質問や意見は無かった。</p>
2	<p>令和3年度文化財関係事業及び予算について(報告)</p> <p>事務局から、令和3年度文化財関係事業及び令和3年度予算について報告があった。委員から「坂元の宝篋印塔の積みなおしの際、何か発見物があったか。」という質問があり、事務局から「宝篋印塔の中からは何も発見されていない。また周辺を掘削したところ、(現代のみのを除いては、)時代不明(もしかしたら(遡れるかもしれない)戦国期の可能性のある)の陶器の破片が2つ出土されたただけであった。」と回答があった。</p> <p>委員から所有者について質問があり、事務局から「坂元町内会に管理団体を引受け</p>

ていただいている。」と回答があった。

委員から、塔身部上部の孔について質問があり、事務局から「ほぞ孔のような孔、長さ10cm、幅3～4cm、深さ3～4cmの小さいお経を丸めて入れられるぐらいの縦長の溝のようなものがあった。」と回答があった。

委員から「願文のようなものが納められていたかもしれない。」という意見があった。

3 埋蔵文化財発掘調査（本発掘調査等）状況について（報告）

事務局から西田池南遺跡の本発掘調査とみとろフルーツパーク再整備事業に伴う見土呂地区試掘調査（八ッ塚古墳群隣接地）の試掘調査について報告があった。2件とも埋蔵文化財につながる発見はほとんどなかったとの説明があった。

委員から「みとろフルーツパーク再整備事業はどのようなものか。」という質問があり、事務局から「詳しくはわからないが、最近流行のグランピング施設のようなものなどいろいろ考えているようである。」と回答があった。

4 その他、指定文化財候補及び文化財行政に係る意見交換など

(1) 市指定文化財に係る報告等

事務局から、加古川市指定文化財について、前回の審議会で答申した「泊神社棟札2枚」（泊神社所蔵）が、令和3年3月12日に市指定文化財に指定されたことについて報告があった。

(2) 国・県指定文化財等に係る報告等

事務局から、鶴林寺重要文化財鐘楼等の修理事業の計画があり国庫補助事業として実施する準備を進めていること、県指定文化財坂元の石造宝篋印塔の積直し修理を令和3年度県費補助事業として6月15日から施工していること、県指定文化財本岡家住宅屋根の小修理を行う計画があることの報告があった。

(3) 文化財保護法の一部改正について

事務局から、令和4年4月1日に文化財保護法が一部改正される。改正内容は「無形文化財及び無形の民俗文化財の登録制度の新設」と「地方登録制度の新設」などであることの説明があり、地方登録文化財制度については条例改正が必要であることの説明があった。

委員から「条例改正しないと（地方登録文化財にするなどの）動きができないということですか。」という質問があり、事務局から「市などの登録文化財にしてから国登録文化財にするようになる、と読み取れる部分もあり、この制度がどのように運用されるのかということが確認できていない。国の登録文化財にする場合、地方の登録文化財になっているものが優先されるかなどについて今後確認（情報収集）していきます。」と回答があった。

委員から「これ（資料）だけでは制度の趣旨がわからない。」という意見があった。

委員から「市内ではどのようなものが考えられるか。」という質問があり、事務局から「鬼追い式や昔から続いている年中行事などが考えられ、登録文化財になることで保存につながると考える。」と回答があった。これに関連して、委員から、市内

の行事（ウツギヨウカ）について情報提供と他市の同行事の事例について意見交換があった。

(4) 埋蔵文化財に係る報告等

事務局から、令和2年度に2冊の埋蔵文化財発掘調査報告書（古大内遺跡発掘調査報告書、片山遺跡発掘調査報告書）が刊行されたことの報告があった。また、未刊行報告書の刊行予定を報告した、

(5) 文化財関係刊行物に係る報告

事務局から、「文化財ニュース 64号」「加古川市文化財年報第4号（平成30年度）」「文化財解説シート 25-28号」「片山遺跡発掘調査報告書」が発行されたことについて報告があった。

(6) 指定候補について意見交換

委員長及び事務局から委員に、指定候補がある場合は紹介するよう依頼があった。

(7) その他、文化財に係る意見交換

委員から「志方大塚古墳の保存について、さまざまな関係者がいるため難しいことが多いが、何とかならないだろうか。」という発言があった。

委員から「加古川図書館の建物はどうなるのか。」という意見があり、事務局から「議会で答弁した市の方針によると、現状のままで当面は図書館の書庫として使用していく。その後については決まっていない。今後については慎重に色々な方面の意見を聞きながら考えていくことになる。」と回答があった。その他、このことに関連して委員から他市の近代建築の事例紹介があった。

委員から、旧中村屋旅館の忠魂碑・ライオン像、滝瓢水の句碑、梅谷佐門石碑、青蘿の句碑、加古寅治墓碑、出身力士などについて話題提供があった。

(8) 今後の予定について

令和3年度の会議の予定について事務局から説明があった。